

報道ご関係者各位

2012年5月25日

『マニユライフ生命 わくわくチャリティラン 2012 駅伝 & ハーフマラソン in 味スタ』

小さなお子さまから大人の方まで1万人を超える皆さんがチャリティランイベントを楽しみました！
元シンクロナイズドスイミング日本代表の青木愛さんらがゲスト参加し、一般ランナーを応援！

TOKYO MXと株式会社東京スタジアムが主催し、マニユライフ生命保険株式会社が特別協賛するチャリティイベント『マニユライフ生命 わくわくチャリティラン 2012 駅伝 & ハーフマラソン in 味スタ』が、2012年5月19日(土)味の素スタジアム(調布市)にて開催されました。

2008年に始まり5回目となる今年は、前日の悪天候が嘘のような晴天に恵まれ、来場者数が初めて1万人の大台を突破、過去最多の約13,000人となりました。当日は駅伝やハーフマラソンに本格的に挑まれる方から、仮装してファンランを走られる方、親子手つなぎランで親子仲良く汗を流される方など様々な参加者が当イベントを楽しまれました。さらに、昨年に引き続き、ボストンマラソンへの特別参加権が当たる抽選では、男性、女性各1名が見事当選し、お二人とも完走へ向けて抱負を語ってくださいました。

また、今年は元シンクロナイズドスイミング日本代表の青木愛さんがゲスト参加し、セレモニーのプレゼンターやランのスターター、ボストンマラソン特別参加権の抽選役を務めていただいたほか、一般のランナーたちとハイタッチをするなどして応援をしていただきました。

さらに今回初めての試みとして、プロの振付師による子どもダンスイベントを実施。数々の人気CMやPVなどの振り付けを手掛けるユニット『振付稼業 air:man』が、参加した子どもたちに振り付けを指導し、軽快な音楽に合わせて子どもたちと一緒にダンスを踊りました。またその様子を撮影した映像をミュージックビデオとして編集し、マニユライフ生命のFacebookページに5月26日正午位に掲載いたします。(http://www.facebook.com/ManulifeJapan)

なお、当イベントに特別協賛をする当社の役職員やその家族がボランティアスタッフとして参加し、来場者受けやランナーの給水、募金の呼びかけ、子どもたちを対象にしたゲームや工作ブースの運営等、本イベントの運営サポートに従事しました。当社代表取締役社長兼CEOクレイグ・ブロムリーは以下のように述べています。「マニユライフ生命は、このイベントに5年連続で協賛させていただいています。今年は、お子様からご年配の方々まで、これまで以上に多くの方々にお越しいただき、また、何度も繰り返しご参加いただいているの方々も多いとのこと、喜んでおります。このチャリティイベントを通じて、東日本大震災の被災地の子どもたちの支援のためにお役に立てることをうれしく思います。」

また、ゲストの青木愛さんは以下のようにイベントの感想を述べています。「東京マラソンぶりのマラソン大会でしたが、私自身すごく楽しむことが出来ました。昨年よりも人がかなり増えたということで、会場内のたくさんの人のわくわくが伝わってきました。このイベントは競走というよりも楽しんで走るコンセプトがとても良いと思います。これからは是非続けて欲しいイベントだと思いました。」

参加者の皆様からお預かりした募金「¥1,335,754」は、赤い羽根の中央共同募金会を通じて、被災地の子どもたちを支援する活動に充てられます。

このイベントの写真と画像は、マニユライフ生命のFacebookページ(http://www.facebook.com/ManulifeJapan)をご覧ください。

《イベント概要》

- 大会名称：『マニュアル生命 わくわくチャリティラン 2012 駅伝 & ハーフマラソン in 味スタ』
- 開催日：2012年5月19日(土)
- 会場：味の素スタジアム/武蔵野の森公園特設コース
- 当日ゲスト：・元シンクロナイズドスイミング日本代表 青木愛さん
・振付稼業 air:man
- 競技種目：【ハーフ駅伝部門】(5.274km×4人 総計21.097km)
・男子の部・女子の部・混成の部(中学生以上) / 700チーム 2800人
【ハーフマラソン部門】(個人:総計21.0975km)
・エイジ部門別 男子の部・女子の部(高校生以上) / 1800人
※エイジ部門(10~30代、40~50代、60代以上)
【ファンラン部門】
・1k 親子手つなぎラン&ちびっ子ラン(幼児・小学生と保護者/子ども単独) / 2500人
・5k ファンラン(小学生以上) 10k ファンラン(中学生以上) / 2500人
- 主催：TOKYO MX、(株)東京スタジアム
- 共催：(社)東京陸上競技協会、東京新聞・東京中日スポーツ、TOKYO FM
- 主管：(社)東京陸上競技協会
- 特別協賛：マニュアル生命保険(株)
- 協賛：味の素(株)、カルピス(株)、日本バナナ輸入組合
- 後援：カナダ大使館、在日カナダ商工会議所、調布市、調布市教委、調布市体育協会、府中市教育委員会、府中市体育協会、府中市、(社)東京都障害者スポーツ協会、東京都公園協会、京王グループ、カナダ アイスフィールド、中央共同募金会、国士舘大学ウエルネス・リサーチセンター、FC 東京
- 協力：調布市市民活動支援センター、ミズノスポーツサービス(株)



今年は約1800名が参加したハーフマラソン。気温30℃近い暑さにもかかわらず、ほぼすべての方が完走されました。



ゲストの青木愛さんは、スターターやプレゼンターをはじめ、ランナーと一緒に走り、励ますなど大活躍していただきました。



「親子手つなぎラン」では、小学生以下の子どもたちがお父さん・お母さんと仲良く汗を流しました。



『振付稼業 air:man』が振付・監修した「子どもダンスイベント」では多くの子どもたちがダンスを楽しみました。



左から、調布市副市長 小林一三、マニユライフ生命 クレイグ・ブ
ロムリー、TOKYO MX 横山博己、東京スタジアム 齋藤一美



スターターを務める当社代表執行役社長
兼 CEO クレイグ・ブロムリー



晴天の中、汗を流しながらコースを走るランナーたち



仮装でファンランを走った受賞者たち



ランナーにバナナを配るマニユライフ生命
社員ボランティアの家族



募金を呼び掛ける、マニユライフ生命
社員ボランティアとその家族

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニユライフ・ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。マニユライフは信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策をお客さまにお届けすることを目指して、2012年で創業125周年を迎えました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012年3月31日現在5,120億カナダドル(5,120億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャル(マニユライフ)として、米国においては主にジョン・ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニユライフ・ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はウェブサイト（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のウェブサイトは次の通りです。（www.manulife.co.jp）